

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	地域住民を対象とした障害者への理解を深めるための啓発講座
取組の目的や背景・内容など	
<p>会館を利用される方には様々な障害を持たれています。特に聴覚・視覚に障害を持つ方については、地域の方の理解と助けが暮らしやすさにも大きく影響してきます。</p> <p>障害のある方への理解と支援を広げ地域福祉の向上を図るため、障害のある当事者を講師に迎え、当会館と山科区社会福祉協議会の共催で地域住民を対象とした啓発講座を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者ボランティア入門講座 ・やましなふれあい手話講座 ・やましな要約筆記ボランティア入門講座 	
取組を行って良かった点など	
<p>各講座とも毎回地域の方に多数参加して頂いています。</p> <p>講座を通じ、地域の方に視覚障害・聴覚障害のある方への理解を深めてもらうことが出来ています。受講された方からは、視覚障害のある方に出会ったとき「何かお手伝いしましょうか」の声かけをすることで視覚障害のある方にも喜んでいただけることがわかった。「手話や点字、要約筆記」を覚えれば当事者とのコミュニケーションに役立つことがわかったので、引き続き手話・点字などを覚えていきたいという声も頂いています。また、引き続き手話を学ぼうと当会館で活動する手話サークルへ参加される方もあり、聴覚障害者の方から大変喜んでいただいています。この講座を通じ、障害者への理解と支援を広げ地域との連携を深めていきたいと思えます。</p>	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	実習生の受け入れ
取組の目的や背景・内容など	
<p>教職員免許取得のための介護等体験実習、社会福祉士資格取得のための社会福祉実習などの受け入れを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none">・介護等体験実習は5日間の実習期間の中で、身体に障害を持つ人達との関わり方や介助について学んでもらっています。・社会福祉実習では23日間の実習期間の中で、障害を持つ人達への相談援助の在り方や、実際の支援の展開について学んでもらっています。	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none">・介護等体験の実習生受け入れでは、実習生が多くの学びを得てくれていると感じられ、また、普段の施設職員間では出てこない新鮮な意見を聞くことができ、自分たちの日々の支援の見直しをする機会となっています。・社会福祉実習での、福祉についてより深く学ぼうとする実習生に対する指導は、関わる職員自身の専門職としてのスキルアップにも繋がっています。	

【応募様式】

法人名	会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	小学校における福祉教育への協力
取組の目的や背景・内容など	
<p>近隣・地域の小学校等に対して、出前の福祉講座を実施しています。近年、小学校での福祉授業への取組が活発になってきており、当施設でも地域の小学校からの依頼を受けて、授業の一環としての福祉講座を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の小学生を対象に、視覚障害のある方の話を聞いてもらったり、車いすの体験、アイマスクをつけての手引き歩行体験などをしてもらい、障がいや福祉への理解や関心を高めてもらっています。	
取組を行って良かった点など	
<p>授業を受ける小学生たちが予想以上に講座の内容に興味持って盛り上がってくれ、子ども達の障がいへの理解が深まったことを実感します。また、福祉授業をきっかけとして、下級生に対して学んだことを伝えようと時間を取って取り組んでくれています。</p>	

【打合せ資料、小学校学級新聞】

山階小学校 福祉体験授業

9/3(月) 16:30
[事前 打ち合わせ]

当事者談 - 日常生活での困りごと → それに対してどんな
手助けが必要なのか

視覚障害
体験グッズ
持参

- 当事者ならではの体験談
- 手引きについてのレクチャー
- 点字について簡単に

10:30 ~ 長休み 到着

10:50 本館2F 4年生教室
11:30 当事者談 ← 小休憩
11:45 手引き体験 スタート

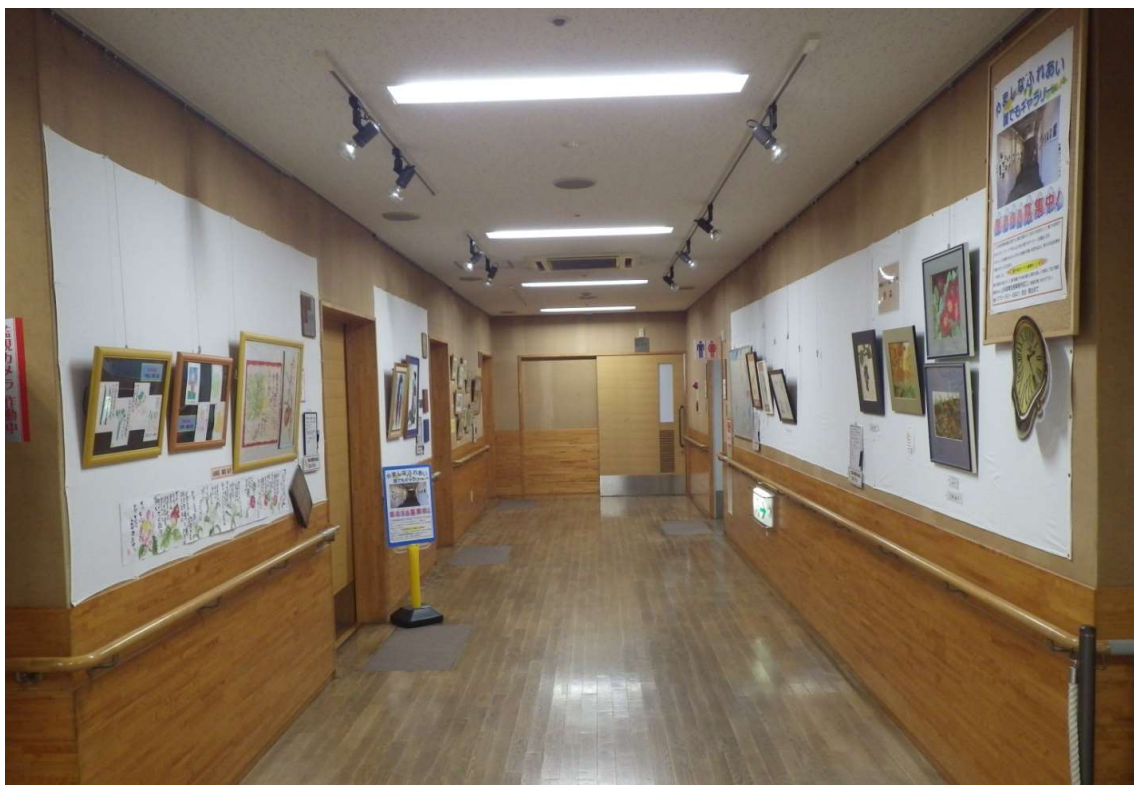
目が見えないということ

8月30日(水)に山科区社会福祉協議会、山科身体障害者福祉会館の方にご協力頂き、目の不自由な方のお話を聞いたり、アイマスク体験をしたりしました。家の中でも危ないことがあるというお話に「めっちゃ大変やん。」と言ったり、音を聞いてどちらから車が来ているかわかるというお話に「え、すごっ。」とつぶやいたり、いろいろな思いをもちながら聞いていました。アイマスク体験では、見えないということが怖いということはもちろん、手引きをする人が重要だということにも気づいたようでした。これから自分たちができることは何なのか考えを深めていきたいです。



法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	「やましなふれあい誰でもギャラリー」
取組の目的や背景・内容など	
<p>「自作の絵画作品などを展示してもらうことはできないだろうか」という、地域の方からの問い合わせがあったことをきっかけに、施設内の壁面スペースを活用し、地域とのつながりを深めるための取組として実施しています。</p> <p>施設の利用者、地域住民の方々を問わず、誰もが無料で気軽に利用してもらえるギャラリースペースとして障害のある方や地域の方の作品を定期的に更新・展示しています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>出品者には自身の作品発表の場として喜んでもらえているとともに、来館される方が自由に作品を鑑賞することのできる気軽なギャラリースペースとして認知してもらっています。</p>	

【参考写真】



【ギャラリー展示風景】

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	福祉有償運送 京都ラクシヨーネ
取組名称	地域の障害者・要介護者等の移動支援
取組の目的や背景・内容など	
<p>地域には公共交通機関を使うことができないために外出に苦労したり、通院する手段がなく困っていたりする人が数多くあります。移動ニーズがないからではなく、移動できる手段がないために、家から出られない重度の障害のある人たちや要介護の人たちが増えてきています。気軽に外出に使える移送サービスがあれば、障がいのある人たちや要介護の人たちがより安心して地域で豊かに暮らしていけるのではないかと2015年（平成27年）4月に福祉有償運送サービスを開始しました。通院や買い物、食事などの外出などの足として地域の障がいのある方や要介護の方たちにご利用いただいています。</p> <p>（2018年度実績）</p> <p>会 員 数 323名 年間運行回数 5561回 年間運行日数 360日 運 行 時 間 8:30～21:00</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>1日平均16件、月間平均470件程度の利用実績があります。障がいのある乳児からお年寄りまで幅広い年齢層の会員にサービスを提供し、利用される方々に大変喜んでいただいています。サービスが地域に浸透することで、障がいのある方との関わりだけでなく、地域に住む要介護の方々や関係機関、病院等との様々な関わりも深まり、地域との連携も進んでいます。また、サービスが地域に認知されるにつれ、当移送サービスを利用して、当法人が京都市より指定管理を受けて運営している京都市山科身体障害者福祉会館を利用する方々も増えてきています。今後も地域と連携し、移動に困っている人たちの足となり、人々の温かな交流・出会いのお手伝いをし、安心を届けていければと思います。</p>	

【参考写真】



福祉車両への乗降の様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市やましな学園
取組名称	セミナー『親心の記録®』活用のススメ
取組の目的や背景・内容など	
<p>学園設立25年が過ぎ、ご利用者、ご家族ともに高齢化してきたため、親なきあとの対応が必要なケースが増えてきました。そのため、『親心の記録®』公認アドバイザーの講師をお招きし、『親心の記録®』という具体的なツールを活用し、「親なきあと」を参加者と一緒になって考えていきたいと企画しました。</p> <p>開催日：令和元年12月3日（火）13：30～15：00</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>参加者申込者44名。当事者のご家族や施設職員などが参加されました。アンケート回収34名で、満足との感想を多数いただきました。感想の中に早速具体的に「親なきあと」の準備を進めますとのご意見などもあり、セミナーを開催してよかったと実感しました。</p>	

【参考写真】



*セミナーの様子

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市やましな学園
取組名称	ボランティア講座の共催
取組の目的や背景・内容など	
<p>山科区民へ「知的障害者（児）への関わり方を啓発」する取組として、「ボランティア講座」を山科区社会福祉協議会・山科区の知的障害者施設と共催しています。</p> <p>山科在住の市民と京都橘大学の学生に向けて、ボランティア活動に関する講習と体験の受入れ、今回初めての企画として山科区内にある知的障害者3施設の見学バスツアーを実施しました。</p>	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> ・当施設の活動やご利用者の様子を知っていただくことができました。 ・講習、見学ツアー参加者から、福祉の仕事に興味を持つことができたという声をいただくことができました。 ・当施設が取り組んでいる、コミュニケーション支援の発表を行う中で、大学生が強い関心を寄せてくれたことが嬉しかったです。 	

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科障害者授産所
取組名称	ボランティア受入れ
取組の目的や背景・内容など	
<p>・縫製品加工ボランティアの受け入れ</p> <p>利用者の作業支援としてオリジナル商品の製作を行っています。主にシルクスクリーンで利用者の描いたイラストを布小物にプリントし地域の販売会などで販売しています。縫製加工の経験のある 70 代～80代のボランティアに縫製加工のお手伝いをお願いしています。</p> <p>(活動実績)</p> <p>活動回数 月2回</p> <p>年間延べ70名参加 (H30年度実績)</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>縫製加工の生産体制を確立させることができ、大量注文を受けることができます。</p> <p>縫製技術が高く、既製品に劣らない商品を製作してもらっています。</p> <p>加工された商品は地域の販売会や山科身体障害者福祉会館 1 階ロビーで販売しています。売上げは、利用者の工賃に還元しています。</p> <p>ボランティアの方々にも、楽しみや生きがいをもちながら力を発揮し交流できる「活動の場」があってうれしいと喜んでいただけています。</p>	



法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科障害者授産所
取組名称	チャレンジ就労体験事業受入れへの協力
取組の目的や背景・内容など	
<p>社会福祉法人京都市社会福祉協議会からの依頼で、一般就労が困難な生活保護受給者に、就労による自立や社会生活の自立に向けたステップアップとしての体験の場を提供しています。平成29年度から受入れを行っており、作業支援として内職業務や館内清掃業務の提供をしています。また月1回社会福祉協議会職員と3者面談を行い、実習の目標、就労状況の確認などを行っています。</p> <p>実習期間中に障害者手帳の必要な方には手帳取得のための支援なども行っています。</p> <p>(活動実績)</p> <p>平成29年度1名 週2回受入れ 午前9時から12時 平成30年度1名 週2回受入れ 午前9時から12時 令和元年度1名 週2回受入れ 午前9時から12時</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>平成29、30年に受入れを行った2名に社会福祉協議会や医療などと連携して手帳の取得を進め、体験終了後は利用者として受入れを行い、一般就労を目指すことができるように支援しています。また生活面の支援が必要な方には行政、相談支援事業所、居宅支援事業所などと連携を取りながら支援を行っています。</p>	



法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科障害者授産所
取組名称	地域の子供たち、学生等への啓発活動 小学校への講演、民間企業の新入社員実習受入れ、介護等体験受入れ
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への講演 学校の依頼で、毎年利用者2名と職員が小学校へ講演に行き、障がいについて子どもたちに話をしています。講演を行うとともに車いす体験を行っています。 実績 年1回 実施 ・民間新入社員の实習受入れ 京都ボランティアセンターを通じて民間企業新入社員の实習受け入れを継続的に行っています。利用者と共に仕事をしてもらい、障がいのある方の「働き」について学ぶ機会を提供したり利用者との面談を通して障がいのある方の生活等を知ることができるよう支援しています。 実績 年1回 2名受入れ ・介護等体験 小・中学校教員免許を取得しようとする実習生の受入れを行っています。 利用者と一緒に仕事やレクリエーション活動に参加してもらい障がいについて理解を深めてもらっています。 実績 年2回 2名受入れ 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への講演で小学生が障がいのある方に対して理解を深める機会を提供することができています。 ・民間企業の新入社員や介護等体験の受入れでは、作業の提供や面談を通して障がいのある方への理解を深めてもらっています。 また実習に参加した社員からは、給食の提供や食事介助の様子などが今後の仕事に大いに参考になったと感想をいただいています。 	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科障害者デイサービスセンター
取組名称	ボランティア講座への協力
取組の目的や背景・内容など	
<p>山科区民へ「知的障害者（児）への関わり方を啓発」する取組として、「ボランティア講座」を19年前より山科区社会福祉協議会が行っています。当施設も講座の共催と体験の受入れ先として協力しています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> • 地域の方々が参加される中、当施設の説明をさせてもらっています。 • 希望者にボランティア体験をして頂いています。 • ボランティア体験を通して、その後継続的にボランティアへ来てくださる方もおられます。 • 地域の方が訪れる事で、利用者さん、職員にも良い刺激になっています。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科障害者デイサービスセンター
取組名称	秋まつりでのワークショップ開催
取組の目的や背景・内容など	
<p>当施設には幼稚園が隣接し、同じ建物の4階には図書館がある等、小さなお子様の往来も多い場所柄、お子様を始めとする地域の皆様に楽しんで頂ける催しができないかと考えていました。そこで、毎年11月初旬に開催する地域と合同のイベントにて、これまでの自主製品販売に加え、ワークショップを2年連続で開催してみました。</p> <p>2018年：貝殻ストラップ作り 参加者のべ51名 2019年：ペットボトルキャップでマグネット作り 参加者のべ52名</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>幼児から小学生の子ども達や、地域の親子連れの方など多く参加して頂いた。ご自宅でもしてみたいと作り方を詳しく訪ねて下さった方や、昨年度のワークショップにも参加したという小学生グループもおられ、今後も秋まつりでのワークショップ開催を続け、地域に定着していけるよう取り組んでいきたいと思えます。</p>	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市だいが学園
取組名称	ふらっと相談 Café
取組の目的や背景・内容など	
だいが学園「Cafe &shopふらっと」で、月に一度(第1水曜日午後1時～3時)、醍醐いきいき市民活動センターとのコラボ企画として、市民活動・地域活動に関する相談や福祉に関する悩みごと等を気軽に相談できる「ふらっと相談カフェ」を開催。(4/3～)	

取組を行って良かった点など	
開催日には、必ず人の温もりがあり、珈琲を飲んでその場を楽しむだけの人、音楽ボランティアの歌を聴きに来られる人、何気ないおしゃべりを楽しむ人が集っている。そんな自然な会話の中から福祉サービスにつながった人、地域活動の話に耳を傾け、仲間を作った人などもあり、ゆっくりではあるが、温かみの感じられる取組を進めることができている。	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市だいが学園
取組名称	だいが公園体操

取組の目的や背景・内容など

令和元年12月11日（水）より、だいが学園分園「Café&shopふらっと」前の広場を利用して、閉じこもりがちな高齢者や身体を動かす機会の少ない近隣の皆さんと一緒に毎週水曜日午前10時から30分程度「だいが公園体操」を実施する。

公園体操の実施に当たっては、「だいが公園体操お助け隊」の方々にご協力を頂きながら運営する。

「Café&shopふらっと」のコンセプト同様、誰でも気軽に自由に参加できる場を提供する。「ふらっと」は機材や旗などの管理、運営に携わり利用者と共に盛り上げていく。

公園体操が、健康維持のため、或いは出会い、語らいの場として地域に暮らす方々が笑顔になれる一助となれるよう取り組んでいく。



令和元年 12 月 4 日（水）リハーサル風景

応募

応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市だいが学園
取組名称	福祉教育への協力

取組の目的や背景・内容など

近隣の小学生の社会見学受入れ、インタビュー受入れ、近隣小中学校教員の勉強会受入れ、地域各団体の見学受入れ、申し出があった高校、大学生等の社会見学受入れ、出張講演等。

取組を行って良かった点など

多くの方々に学園の取組を知って頂ける機会になっている。



応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市だいが学園
取組名称	福祉系大学の実習生受入
取組の目的や背景・内容など	
福祉専門職養成のために不可欠な実習生の受け入れを積極的に行っている	
取組を行って良かった点など	
<p>実習生を受け入れ、指導することは大変なことも多いが、実習生が頑張っている姿は利用者にも職員にも良い刺激をもたらし、また施設側にとっても学びの機会となっている。</p> <p>実習が終わったあとも、手紙や訪問、また販売の機会などを作ってくれることもあり、障害者を支える仲間が増えることを実感できている。</p>	
 	

応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市だいが学園
取組名称	チャレンジ就労体験の受け入れ
取組の目的や背景・内容など	京都市社会福祉協議会の要請を受け、就労体験先としての場を提供している
取組を行って良かった点など	障害があってもなくてもそれぞれの困りがあることを、利用者、実習者ともに経験できる場を提供できていること。

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都東野障害者福祉センター
取組名称	「地域交流スポット楽」を設置・運営
取組の目的や背景・内容など	
<p>毎月第2・4火曜日の午後2時～6時にセンター内の1階ダイルームをフリースペースとして開放し、地域の方々が交流できる場を提供しています。開催日には「笑いヨガ教室」、「ボッチャ」、「卓球」、「折り紙」、「カフェ」を行い、地域の方々に喜ばれるような内容としています。</p> <p>その他、不定期に下記のイベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/12 子メダカ進呈やプラレール等の子どもを対象にしたイベント ・10/27 「ハロウィン&新幹線トワイライトバー」 ・11/12 「笑いヨガ体験会」 	
取組を行って良かった点など	
<p>月に2回、地域交流スペースで楽しめる企画を用意し、地域の方々から「楽しかった」、「また来ます」と言ってもらえることで、スタッフも励みになります。</p> <p>また、不定期のイベントを開催し、多くの方々に楽しんでもらえたと同時に「京都東野障害者福祉センター」の事業を理解してもらえたり、福祉に関心をもってもらう良いきっかけとなりました。イベントでは、障がいがある子どもたちも参加し、地域の子もたちと交流できる場が作れたことも有意義だったと思います。</p> <p>ボランティアでご協力いただいた、折り紙の上手な方や笑いヨガの講師の方など、地域の方々に支えられながら開催できたことも良かった点です。</p> <p>さらに、「ボッチャ」を紹介して欲しいと他のイベント主催者から参加要請があり、地域の子もたちと当センターの「デイスポット楽」の障がいがある利用者が交流し、一緒に楽しむ機会がくれたことも良かったと思います。</p> <p>今後、地域の方々が気軽に集えて、楽しく居心地の良い場所となるよう努力したいと思います。</p>	

【参考写真】

**地域交流スポット楽
イベントのご案内**

日時: 令和元年8月13日(火)
午後2時から午後6時まで

場所: 地域交流スポット楽
(京都東野障害者福祉センター内)

卓球

折り紙
作った物はお土産に

**カフェ(有料)
お菓子付き**

プラレール

ボッチャ
カーリングのようなスポーツ

子メダカ進呈
小学生のみ
容器はいりません
2匹ずつ先着20名

社会福祉法人 京都障害者福祉センター
地域交流スポット楽
<お問い合わせ先>
〒607-8142
京都市山科区東野中井ノ上町 1-17
TEL(075)595-7676(デイスポット楽)
FAX(075)595-7678

8/13 イベントのチラシ



8/13 イベント開催時の様子

ハロウィン&新幹線トワイライトバー

2019年10月27日(日)
13:00~17:30 (雨天決行)

場所：京都東野障害者福祉センター
(山科区東野中井ノ上町1番地17)

ハロウィンタイムは
13:00~16:00

- ★衣装（フンポイントでも可）で来場の方にはお菓子のプレゼント！！
- ★缶バッジとチェキのプレゼントもあります！ 衣装グッズもあります！
- ★カフェコーナーでくつろいだり、スヌーズレンの体験もできます！！

★屋上で新幹線を眺めながらお酒を飲みませんか？

★至近距離での新幹線！！夕暮れとのコラボレーションは見物です！！

★お酒が飲めなくても楽しめます。お子さんの参加も大歓迎。

★入場料無料。事前申込はいりません。
★飲食は有料となります。ビール、おつまみ、ソフトドリンク etc ご用意しております。
★当日は公共交通機関でお越し下さい。

主催：社会福祉法人 京都障害者福祉センター
お問い合わせ：075-595-7716
放課後等デイサービス すてーじ（小島）

10/27 イベントのチラシ



1027 イベント開催時の様子

地域交流スポット案のイベントのお知らせ


笑いヨガ体験会

**日時：令和元年11月12日(火)
14:00～14:45**

場所：京都東野障害者福祉センター

講師：インストラクター渡邊彰子 氏

費用：無料(申し込み不要)



< 5つのポイント >

- ① 笑いヨガは、誰でも理由が無くても笑うことができるユニークな健康法である。
- ② アイコンタクトと子どものような遊び心を利用することによって、本物の(自然な)笑いが生まれ、人から人へと伝染していく。
- ③ 笑いのエクササイズとヨガの呼吸法を組み合わせることによって、酸素が身体にも脳にもより多く吸収され、活力と健康を実感できる。
- ④ 笑いヨガは、身体は意識的に行う作り笑い和本物の笑いの区別がつけられないという科学的な事実に基づいている。どちらからも、同じ生理学的・精神的効果が得られる。
- ⑤ 笑いヨガは、インドの医師マタン・カタリヤ博士が1995年にムンバイの公園でたった5人だけで始めたものだが、急速に世界中に普及し、今や100か国以上で何千もの笑いクラブが活動している。

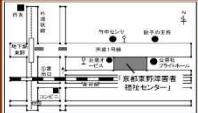
「笑いヨガ」とは、
誰にでもできる笑いの体操、
笑いの健康法のこと。
笑いを呼吸法と考えるとハハハと
吐くだけで、ヨガのような健康
効果が得られるのが
笑いヨガ。

<当日その他の楽しい企画> 14:00～18:00

- ・卓球……だれでも自由にできます(無料)
- ・折り紙……見本を見ながら折って、作ったものはお土産にどうぞ
- ・ポッチャ……ヨーロッパで生まれたカーニングのような障がい者スポーツ(誰でも楽しくできます)
- ・カフェ……コーヒー・紅茶(100円)、オレンジジュース(50円)を飲みながら談話、お菓子は無料

毎月第2,4火曜日に上記の企画を定期開催。(ただし振日は除く)

<お問い合わせ先>
 社会福祉法人 京都障害者福祉センター
 地域交流スポット案 (京都東野障害者福祉センター内)
 〒607-8142 京都市山科区東野中井ノ上町 1-17
 TEL(075)595-7676 (デイスポット案：高橋)



11/12 イベントのチラシ



11/12 イベント開催時の様子